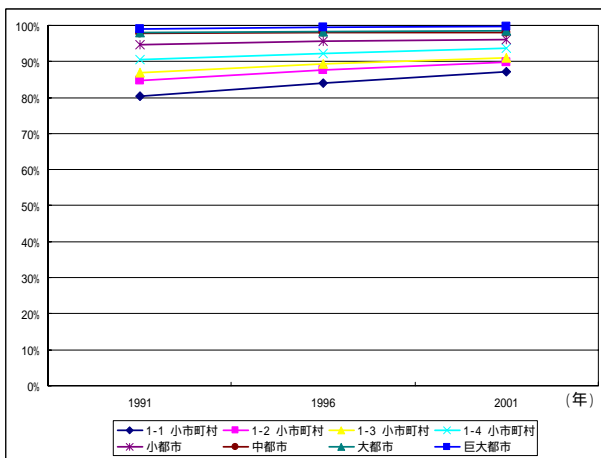


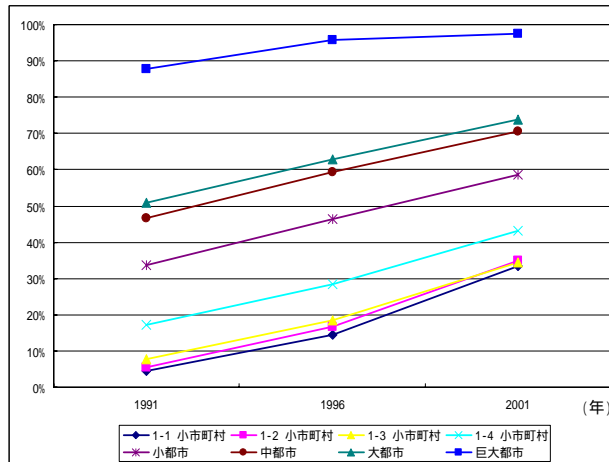
指標：都市規模別上下水道整備率

基本的な社会資本の1つである上水道等については、都市規模による整備水準の差異はあまりみられず、格差も縮小に向かっている。下水道等については、都市規模による整備水準の格差が依然として大きい。

上水道等普及率



下水道等普及率



(出典) 公共施設状況調より国土交通省国土計画局作成

(注) 上水道等普及率 = (上水道 + 簡易水道 + 専用水道 + 飲料水給水施設) 給水人口 / (住民基本台帳登載人口 + 外国人登録人口) × 100

下水道等普及率 = ((公共下水道 + 農業集落排水施設 + 漁業集落排水施設 + 林業集落排水施設 + 簡易排水施設 + 小規模集合排水処理施設) 現在水洗便所設置済人口 + (コミュニティ・プラント + 合併浄化槽) 処理人口) / (住民基本台帳登載人口 + 外国人登録人口)

都市規模は住民基本台帳を基に以下の通り分類

1-1小市町村：～5千人 1-2小市町村：5千～1万人 1-3小市町村：1万～2万人 1-4小市町村：2万～5万人

小都市：5万～10万人 中都市：10万～30万人 大都市：30万人～(巨大都市を除く) 巨大都市：東京23区及び政令指定都市